

長野県まちづくり・ボランティアフォーラム 2021

(日本地域福祉学会 関東甲信越静部会地域福祉セミナー)

～学びから実践へ 協働で取り組む“まちづくり”～

1 趣 旨

地域を支える、まちを盛り上げる、こんな地域になったらいいな…。そんな思いを持った住民が暮らしの中で学び、気づき、動き出す。動く人同士の出逢いが重なり合い、豊かなまちづくりが広がっていく。

私たちは、ボランティア・市民活動や、地域福祉・社会教育の仲間たちと、学びから地域づくりを実践しながら、人口減少や高齢化、様々な担い手不足、つながりの希薄化などの地域の諸課題と前向きに向き合ってきましたが、今、新型コロナウイルス感染症の影響や気候変動に伴う災害の多発化など、先の見えない不安の中でともすれば挫けそうな気持ちを抱えています。

このフォーラムは、そんな中だからこそ、分野をこえてまちづくりを学ぶ場を創りたいというボランティア、地域福祉、社会教育関係者の思いから生まれました。

ちょっとだけ未来を見通しながら、身近なまちのなかで学び、ときどきわくわく発見し、手づくりで実践するボランティア・スピリットを確認し、協働の輪を広げる、そんな学びと出会いの場になることを期待します。

- 2 主 催 社会福祉法人長野県社会福祉協議会
- 3 共 催 日本地域福祉学会関東甲信越静部会、長野県生涯学習推進センター
長野県社会教育委員連絡協議会
- 4 後 援 長野県、長野県民生委員児童委員協議会連合会、長野県生活協同組合連合会、長野県
NPO センター、長野県長寿社会開発センター、信州くらしの支えあいネットワーク
(順不同)
- 5 期 日 令和4年2月5日(土) 10時00分から 18時30分
- 6 参加方法 ZOOMによるオンライン または 長野県総合教育センター(スタジオ)
- 7 参加者 (1) ボランティア・地域活動に関わる方(ボランティアグループ、地域支え合い組織等)
(2) 地域の課題解決に取り組む方(NPO法人、社会福祉法人、企業等)
(3) 地域の活性化や地域おこし(コミュニティビジネス、コミュニティデザイン等)に取り組む方
(4) 地域の自治活動等に取り組む方(自治会役員等)
(5) 社会教育や公民館活動に関わる方(社会教育委員、公民館関係者等)
(6) こうした取り組みに興味・関心のある方
(7) 行政職員(地域福祉、高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、社会教育、生涯学習、公民館、都市まちづくり、文化財、地域振興課、産業振興、観光振興、住民自治組織支援、地域おこし協力隊、などの担当者 等)
(8) 教職員(小・中・高・特別支援学級、大学・短大・専門学校 等)
(9) 社会福祉協議会(ボランティアコーディネーター、生活支援コーディネーター、地域福祉コーディネーター、福祉活動専門員 等)

- 8 申込方法 1月28日(金)までに下記 URL または QR コードからお申込みください。お申込み方法がわからない場合は「11 お問い合わせ先」まで連絡ください。

<https://forms.gle/4arxHj3d4kLPCYet5>

※申込み際してメールアドレスが必要です。登録いただいたアドレスに当日の情報等をお送りします。



- 9 資料代 1,000円(後日請求いたします。)
- 10 その他 (1) 自然災害や犯罪予告等により参加者の安全が確保できないと判断し、本フォーラムを中止または延期する場合は、本会のホームページに掲載して通知します。
長野県社会福祉協議会HP → <http://www.nsyakyo.or.jp>
(2) 本フォーラムに係る個人情報は、本会の「個人情報の保護に関する方針」に基づき適切に取り扱い、他の目的で使用することはありません。
- 11 お問い合わせ先 社会福祉法人長野県社会福祉協議会まちづくりボランティアセンター
電話 026-226-1882 FAX 026-227-0137
メール vcenter@nsyakyo.or.jp

12 プログラム（予定）

(1) 午後のセッションについては、「13セッション一覧」を参照してください。

(2) セッション内の AB は自由に移動できます。どちらでもお好きなほうへ参加してください。

時間	内容
9:15	受付開始
10:00	開会
10:05	<p>◇話題提供 ～社会教育と地域福祉の協働による“まちづくり”の可能性～</p> <p>暮らしの基礎となる“まち”。その中では、多様な価値観、多彩な活動がごちゃまぜで存在し、お互いを理解し尊重し協働しています。社会教育と地域福祉の出会いがどう“まちづくり”に発展するか。それぞれの立場から思いや課題等を共有し、本フォーラム参加にあたっての話題を提供します。</p> <p>話題提供者：小池 玲子 氏（長野県社会教育委員連絡協議会 会長） ：山岸 久美子 氏（安曇野市社会福祉協議会 係長） ：傳田 清 氏 （NPO ホットライン信州・信州子ども食堂ネットワークスタッフリーダー） コーディネーター：加山 弾 氏（東洋大学 教授）</p>
10:30	<p>◇基調講演 ～東日本大震災から 10 年 復興と地域づくり、持続可能な未来をつくる学びの力～</p> <p>多くの尊い命を失った未曾有の大災害から 10 年。被災地では地域の再生と未来に向けて復興が進んでいます。</p> <p>時をさかのぼり、第二次世界大戦、敗戦国となった日本を再建しようと建設されてきた公民館。現在も地域の学びの場、住民自治を支える拠点として運営されています。その後、高度経済成長を経て、災害、少子高齢化、経済格差による貧困、さらには新型コロナウイルスなどに直面しながらも地域住民の学びと対話から生まれるボランティア・スピリットによって地域は成り立っています。</p> <p>このような日本の歴史、地域の歩みから、改めて地域の持つ大きな力をボランティア・地域活動、住民自治の在り方や価値から捉え、持続可能な未来を考えます。</p> <p>講師：天野 和彦 氏 （福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授）</p>
12:00	<p>◆昼休憩（動画放映） ～共生みらいアイデアコンテスト「ふくし×若者×企業・団体」～</p> <p>福祉・介護分野のイノベーションの促進をテーマに、若者と企業がタッグを組み、ICTを活用した福祉・介護の課題解決にチャレンジする「共生みらいアイデアコンテスト」の参加作品を動画で紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業高校生が考える避難したくなる避難所マップ ・障がい就労支援事業所のWEBショップを女子高校生がプロデュース等

13:15	<p>◇セッション1</p> <p>A: 公民館とボランティアセンターの協働 ～つなぐ・つながる おもしろさの発見～</p> <p>B: 誰一人取り残されない地域づくり ～災害時に支え合える仕組みをみんなで作る～</p>
14:30	休憩
14:40	<p>◇セッション2</p> <p>A: 地域活動・ボランティア活動を考える ～コロナ禍のピンチをチャンスに～</p> <p>B: 子どもの居場所をつくる、支える ～お店、ボランティア、公民館・・・ 子どもを中心に広がるつながり～</p>
15:55	休憩
16:05	<p>◇セッション3</p> <p>A: 学びと出逢いからはじまる豊かな地域づくり ～社会教育、福祉教育でヒトがつながる地域がつながる～</p> <p>B: 若者の自立を支える ～児童養護施設と地域がつながる・見守る仕組みをつくろう～</p>
17:20	休憩
17:25	<p>◇まとめ</p> <p>～垣根をこえて、協働を進めていくためには～</p> <p>まちづくりには住民や専門職、ボランティア、NPO等の様々な主体の関わりが重要になります。それぞれでバラバラに活動するのではなく、お互いを理解し協働することで大きな力となります。本フォーラムの1日を通して学んだ地域の力や各分野の取り組みを再度整理し、共有してこれからのまちづくりを考えます。</p> <p>コメンテーター：木下 巨一 氏（長野県生涯学習推進センター 所長） 加山 弾 氏（東洋大学 教授）</p>
18:30	閉会

13 セッション一覧（予定）

時間	内容・出演者	
<p>セッション1</p> <p>13:15 ～ 14:30</p>	<p>㊤公民館とボランティアセンターの協働</p> <p>～つなぐ・つながる おもしろさの発見～</p> <p>地域の拠点として機能している公民館やボランティアセンターには沢山の「やりたい」や「困った」の相談がやってきます。それぞれの拠点だけで受け止められるか、受け止めきれなければどうするか。ちょっと周りを巻き込めるかどうかでその後の展開は大きく変わります。</p> <p>塩尻市の取り組みから、公民館×ボランティアセンターのコーディネートの可能性について考えます。</p> <p>【出演者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安藤 寿秀 さん(塩尻市中央公民館 主事) ・沓掛 未奈 さん (塩尻市社会福祉協議会 主事) ・高砂 美織 さん (塩尻市社会福祉協議会 主事) 	<p>㊦誰一人取り残されない地域づくり</p> <p>～災害時に支え合える仕組みを みんなで作る～</p> <p>災害が多発化するなかで、地域の高齢化が進む中で、災害時に支え合い仕組みを、住民や消防団や福祉専門職など、みんなで作ること重要になっています。</p> <p>この分科会では、県内各地で取り組まれてきた災害時住民支え合いマップづくりや、デジタルマップを活用した防災福祉カンタンマップ実証実験を題材にしながら、地域で取り組む防災・減災を学びます。</p> <p>【出演者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石井 布紀子 さん (NPO 法人さくらねっと 代表理事) ・新井 栄子 さん (柳原地区住民自治協議会 事務局長) ・宮下 一代 さん(豊丘村社会福祉協議会)
<p>セッション2</p> <p>14:40 ～ 15:55</p>	<p>㊤地域活動・ボランティア活動を考える</p> <p>～コロナ禍のピンチをチャンスに～</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大によって今までやってきた地域活動やボランティア活動がとまってしまったところもあります。その一方で、つながりを途切れさせたくない思いや新しく生まれた困ったを解決するため工夫をして活動を続けているところもあります。</p> <p>コロナ禍での活動や思い等を振り返りつつ、あらためて地域活動やボランティア活動の価値について考えます。</p> <p>【出演者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口 和子 さん (やまびこ会 会長(長野市)) ・中山 千代子 さん (熊倉お茶の間サロン代表(信濃町)) ・地域で食材を循環させる会(松川町) <p>【聞き手・助言者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加山 弾 さん(東洋大学 教授) 	<p>㊦子どもの居場所をつくる・支える</p> <p>～お店、ボランティア、公民館・・・ 子どもを中心に広がるつながり～</p> <p>「おいしいごはんをたくさん食べて欲しい」「みんなと楽しく遊んで欲しい」「悩みがあれば相談に乗りたい」。子ども達が元気でいられる場所を支えている活動が地域にはたくさんあります。それらの活動がつかないのは子ども達だけではありません。実は、大人同士であったり、多世代交流の場であり、活躍の場であったりします。</p> <p>この分科会では、子どもの居場所づくりを通じて、大人も子どももみんなに関われる地域づくりについて考えます。</p> <p>【出演者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・降旗 都子 さん (松本市第三地区まちづくり協議会 副会長) ・木下 巨一 さん (長野県生涯学習推進センター 所長)

<p>セッション3</p> <p>16:05 ～ 17:20</p>	<p>㊤学びと出会いからはじまる豊かな地域づくり</p> <p>～社会教育、福祉教育で ヒトがつながる地域がつながる～</p> <p>地域共生社会の実現に向けて制度や分野を超えた連携が進められています。しかし、制度や分野を超えた連携にはお互いを理解し尊重し合うことが重要です。</p> <p>この分科会では、社会教育と福祉教育の接点を探り、両者の協働を醸成し、誰もが安心して暮らせる豊かな地域づくりについて考えます。</p> <p>【出演者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田市豊殿地区の皆さん ・中村 裕二 さん (下諏訪町社会福祉協議会 係長) <p>【聞き手】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小池 玲子 さん (長野県社会教育委員連絡協議会 会長) ・山田 翔太 さん (御代田町社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター) <p>【ファシリテーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下倉 亮一 さん (長野県長寿社会開発センター シニア活動推進コーディネーター) 	<p>㊤若者の自立を支える</p> <p>～児童養護施設と地域がつながる・ 見守る仕組みをつくろう～</p> <p>コロナ禍で若者たちの就職難が懸念される中、親の支えがない若者たちはより困難な状況に置かれています。地域では、まいさぼ等の相談機関が強化されつつありますが、児童養護施設を巣立った若者が相談に訪れることは稀な状況です。</p> <p>彼らに「安心して頼っていい」ことを伝えるため、専門家もボランティアも、今できることを考えましょう。</p> <p>【出演者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮下 順 さん (飯山学園 園長) ・傳田 清 さん (NPO ホットライン信州・ 信州子ども食堂ネットワーク スタッフリーダー) ・山岸 舞 (長野県社会福祉協議会 主事) <p>【助言者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太田 一平 さん (NPO 法人 STARS 代表理事 擁護施設八楽児童寮 寮長)
--	--	--